

水質の保全と「豊かな海」の両立に向けた社会実験について

1 水質の保全と「豊かな海」の両立に向けた社会実験の実施

- ・2022年11月1日から、矢作川・豊川浄化センターにおいて、窒素・りん濃度の増加運転を開始。
- ・2023年1月末時点で、観測地点での特異な濃度上昇及び極度の赤潮等の悪影響は確認されていない。

2 社会実験の結果の検証に向けて

(1) 愛知県栄養塩管理検討会議の設置

- ・2022・2023年度で行う「水質の保全と『豊かな海』の両立に向けた社会実験」の結果を検証することや、漁業生産に必要な望ましい栄養塩管理のあり方を検討することを目的とし、2022年9月30日に設置。
- ・構成員等、詳細は別添1を参照。
- ・委員として、水質・地盤環境部会長、水大気環境課長が参加。

(2) 第1回会議開催結果

【日時】2022年10月24日（月）午前10時～正午（公開で開催）

【議事概要】

ア 愛知県栄養塩管理検討会議について

事務局から、検討会議の設置目的及び検討事項（社会実験の効果を検証し、その結果を踏まえた今後の方向性と漁業生産に必要な栄養塩管理のあり方の検討）等を説明した。

イ 座長の選出について

名城大学大学院 中田特任教授が座長に選出された。

ウ 伊勢湾・三河湾の栄養塩の現状とこれまでの取組等及び流域下水道における栄養塩管理運転（社会実験）について

事務局から、伊勢湾・三河湾の現状とこれまでの下水道放流水のりん増加試験運転の結果、社会実験の概要及び検証方法を説明し、協議が行われた。

【委員意見① <社会実験における下水処理場排水の全窒素・全りん濃度について>】

- ・総量規制基準をせつかく緩和したのにも関わらず、放流見込みの濃度が低すぎる。（別添1 資料3、別添2 会議録 p. 2）。

→矢作川浄化センターと同じ水処理施設を持ち、窒素濃度増加放流を既に行っている自治体の浄化センターの実態から想定した濃度である。

【委員意見② <社会実験中断を判断する条件について>】

- ・放流水の影響を受ける地点の全窒素・全りん濃度について、過去10年の月別濃度最大値と比較して、2か月連続で超過したら中断するという、たがをはめるのは良くない。異常が発生したときに集まってどうするか協議すればよい（別添1 資料3、別添2 会議録 p. 3以降）。

⇒過去 10 年という枠の中で連続 2 か月という条件でやっていきたい。(順応的な形では) 大きな赤潮や苦潮が発生した時に間に合わない。

《県の対応》

意見を踏まえた上で、当初の計画のとおり、中断の判断は、過去 10 年の月別濃度最大値と比較して、2 か月連続で超過したら中断することとした。

【委員意見③ <調査項目について>】

- ・実際に測定する調査項目はどんな項目か (別添 1 資料 3、別添 2 会議録 p. 16~17)。

⇒資料に記載したものだけでなく、他の項目も測る。

《県の対応》

図のとおり調査地点及び調査項目を整理した。

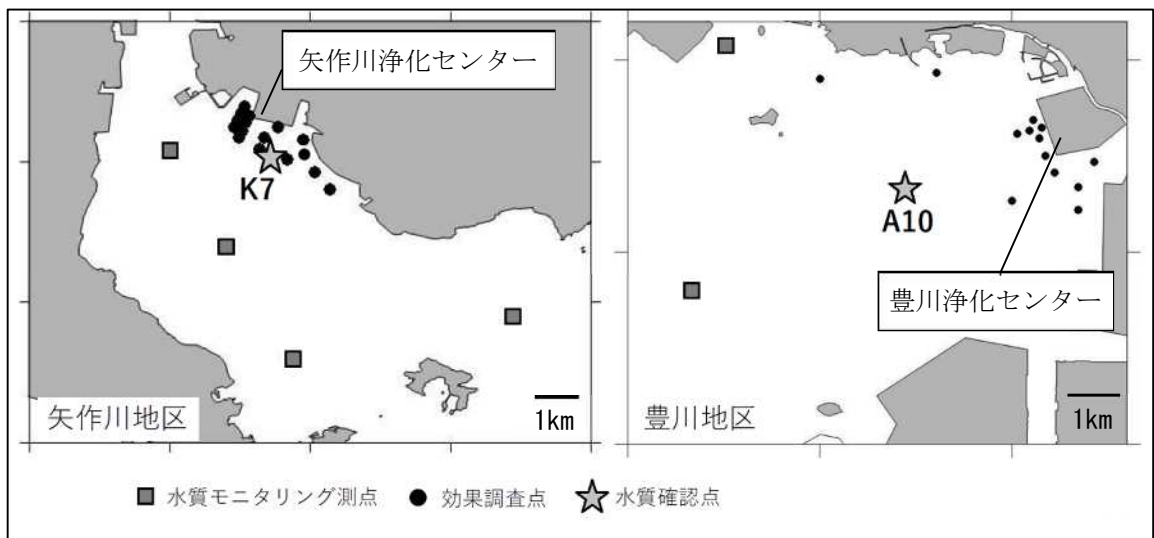


図 1 社会実験に係る調査地点

水質モニタリング			効果調査					
		公共用水域 水質調査	赤潮調査					
調査項目	COD	○	×	水質調査	調査項目	TNTP	○	○
	TNTP	○	×			DIN,PO4-P	○	○
	DIN,PO4-P	○	○			クロロフィルa	○	○
	クロロフィルa	○	○			水温	○	○
	水温	○	○			塩分	○	○
	塩分	○	○			溶存酸素	○	○
	溶存酸素	○	○	アサリ調査	現存量	○	×	
			生残率		○	○		
			肥満度		○	○		
			群成熟度		○	○		
				ノリ調査	色調 (L*値)	○	—	

図 2 社会実験に係る調査項目

【委員意見④ <社会実験の効果検証の方法について>】

- ・下水処理場からの影響がない漁場を比較対象として、アサリ漁獲量やノリの色づきについて検証した方がよい。あとの評価がやりやすくなる（別添1 資料3、別添2 会議録 p.19）。
⇒知多半島の東岸のノリについては注目していく。漁業情報の把握の中で県全体の（アサリの資源）状況を見ながら（効果把握を）できるだけやりたい。

エ 今後のスケジュールについて

事務局から、検討会議の今後のスケジュールについて説明した。

（3）今後の予定

- ・2023年6月に、第2回愛知県栄養塩管理検討会議開催予定。2022年度の社会実験の効果の検証を行う。
- ・開催結果については当部会で報告する。

（4）その他

- ・栄養塩管理検討会議の構成員を対象として、社会実験についての理解を深めるため、勉強会を行った。

【日時】 2023年1月31日（火）午後1時30分～午後4時

【場所】 矢作川浄化センター